

子ども未来支援事業
(子ども食堂)
実績報告書 (記入例)

こども食堂名称	こども食堂〇〇
代表者名	
連絡責任者	氏名 住所 電話 FAX メール
実施場所	A地区 △△公民館
開設日	令和3年7月〇日(日)
1日あたりの平均参加者数(子どもの数)	20人/回
運営スタッフ数	15人/回
開催状況	開催頻度 月1回(第2水曜日) 開催時間 午後5時から8時まで
対象(呼びかけ)地域	〇〇市A地区
参加対象者	18歳以下の子ども(ひとり親家庭の子、欠食が続いている子含む)
費用徴収の概要	18歳以下:無料 大人:300円

<p>子ども食堂での 実施プログラム</p>	<p>午後3時～ ボランティア集合、調理開始 午後5時半～ 配膳 午後6時～ 食事 午後7時～ レクリエーション（勉強会、レクリエーション） 午後8時 子どもたち見送り 午後8時半 後片付け終了、解散</p>
<p>実施した内容</p>	<p>①打ち合わせ経費 ・開設にかかる準備・打ち合わせの実施（2回） ○月○日PM7時～ 子ども食堂の目指す方向について打ち合わせ ○月○日PM7時～ PRチラシ原稿作成、献立打ち合わせ ・地区内のお店に寄付の呼びかけ</p> <p>②子ども食堂運営にかかる備品等の購入 炊飯器、フライパン、食器、絵本、おもちゃの購入 会場代、参加者保険料</p> <p>③チラシの作成 ・自治会を通じてA地区の全世帯およびA地区にある児童館・保育所、 小学校に配布 600部 ・ボランティアセンターを通じて大学生の学習支援のボランティアも募 集した</p>
<p>事業実施により 生まれた成果・ 効果等</p>	<p>・孤食の子どもたちが子ども食堂に参加でき、毎月楽しみにしているという声があった。</p> <p>・地域の方がボランティアで参加し、子どもたちとの交流が図られた。</p> <p>・大学生が学習支援のボランティアに参加してくれ、今後は学習支援だけではなく、運営にも携わってくれることになった</p> <p>・チラシを活用し広く周知を図ったことで地域の人や法人から野菜や米の提供、寄付を約〇万円集めることができた。</p> <p>・子ども食堂に参加する子どもたちだけではなく、ボランティアをする地域の方の居場所としても定着が図れた。</p>
<p>こども食堂を通 じて見えてきた 課題および今後 の展望等</p>	<p>・子どもの居場所として定着を図るためには継続して実施していくことが必要であり、また子どもの気づきのためには多くの目で子どもを見ていくことが必要であると感じた。</p> <p>・そのためにもボランティアや地域の理解・協力は必要不可欠であり、日ごろから地域ぐるみで地域の子どもの見守る体制づくりが大切であると感じた。</p>